

2018年4月10日

受益者の皆さまへ

三井住友アセットマネジメント株式会社

三井住友・ロシア株式オープンの基準価額下落について

(4月10日の基準価額の変動要因についてのお知らせ)

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

2018年4月10日、以下のファンドの基準価額が前営業日比5%以上の下落となりましたので、要因等についてご報告致します。

1. 基準価額が前営業日比5%以上下落したファンドの名称とその状況

ファンド名	基準価額 (円) (2018年4月10日)	前営業日比 (円) (2018年4月9日比)	変動率
三井住友・ロシア株式オープン	6,708	-808	-10.75%

2. 基準価額の変動要因等について

2018年4月6日(米国現地時間)に、米国財務省はロシアが2016年の米国大統領選にサイバー攻撃などを通じて介入したとして、追加の経済制裁を実施すると発表しました。制裁はプーチン政権に近い新興財閥や政府関係者、軍関係の国営企業が対象となりました。制裁対象となった関係者や企業は米国内の資産が凍結され、米国企業との取引が禁止されます。

週明け9日のロシア株式市場はこの発表により急落し、またロシアの通貨であるルーブルも米ドルに対して下落しました。ロシアの代表的な株式指数のうち、ルーブル建てのMOEXロシア指数は約8%の下落、米ドル建てのRTSインデックスは約11%の下落と共に大幅な下落となりました。これに伴い、当ファンドが投資対象としているロシア企業のDR(預託証券)(※)の価格も下落し、当ファンドの基準価額を大きく押し下げました。

※DR(預託証券)・・・Depositary Receiptの略で、株式を海外で流通させるために、その株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいい、株式と同様に取引所などで取引されます。

3. 今後の見通し

今後については、短期的に米国とロシアとの関係悪化が懸念されます。ロシア株式市場は、当面は米ロ間の関係に対する思惑に左右され、変動性の高い相場展開が予想されます。ただし、株式市場が落ち着くのに多少時

間がかかりそうなものの米口ともに本格的な対立を望むとは思われませんので、いずれ関係改善に向けた協議へ移行していくと考えます。

ロシアでは、今年3月の大統領選でプーチン現大統領が再選されました。同大統領の強固な政治基盤を背景に、長期的な経済運営が可能です。加えて原油価格が高値圏で安定していることはロシア経済にプラスであり、また2018年3月には2月に続き利下げが行われ今後も金融緩和の継続が期待されます。市場に不透明感が残りますが上記のような支援要因もあり、今後も引き続きバランスシートやキャッシュフローの強固な銘柄を中心とした運用を行います。

以上

【当資料のご利用にあたっての注意事項】

- この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。一般社団法人投資信託協会規則に基づき制定した当社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。
- 投資信託は、値動きのある証券(外国証券には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。
- 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に市場環境にかかるデータ・分析、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは当資料作成時点のものであり、将来の市場環境・運用成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、または分配金が支払われない場合もあり、将来に関し述べられた運用方針も変更されることがあります。